

---

# It's Beautiful Days !

御鏡 明楽

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

It's Beautiful Days!

### 【Zコード】

N5333BA

### 【作者名】

御鏡 明楽

### 【あらすじ】

春、高校入学。そこで、楽しい日々が始まる。つと思っていたのだが、何の間違いか、入学早々告白されてしまう！？

普通な主人公と美人な彼女とのある意味楽しい日々が始まる。かもしれない。

## プロローグ

冬が終わり、春の気配が近づいてきた。

高校入学を機に、一人暮らしをすることになった。弱肉強食の受験戦争を勝ち抜き、入学した私立光明高校は、自分で言うのもなんだが一応有名高校である。僕が、こんな高校に合格できたのは、ここ数ヶ月の壮絶な受験勉強のおかげだろう。ほんとうに、大変だつた。もう、受験が終わって、真っ白に燃え尽きたね！だって、一生分勉強したんじゃない？くらい勉強したんだもん。まあ、もっとやつてる人もいるんだろうけど・・・。

当たり前だが、一人暮らしでは家事は、自分でしなくてはならない。しかし、寝坊したらどうしようとか、自分で料理を作らないといけないと、問題は山積みだがそれよりも、明日の入学式のことで頭がいっぱいだ！ここ、地元じゃないから一人も知り合いがないし・・・まあ、なるようになるさ。今日は、明日に備えてもう寝ようかな。まだ、10時だけど。



## プロローグ（後書き）

短くてすいません。次からはもつひとつと長いなる予定です。  
暇つぶし程度に読んでもらえれば幸いです。

## 第一話「僕つて、シシコミの気質なのかな？」

つこにやつてきた、入学式！いつもより30分早く目が覚めてしまった。だらだらと校長が話した後、自分の自分のクラスに向かった。僕は3組だそうだ。当たり前だが知っている人は誰もいない。席に着き、教室を見回していると茶髪のキャラのような男子生徒が話しかけてきた。

「よう！俺、富沢幸樹っていうんだ。よろしく！」

驚いたことに普通に自己紹介してきた。僕はてっきり、お？いい財布持つてんじゃねえか。くれよ？は？中身も一緒にむりうに決まつてんじゃねえか！とか言われるのかと思った。

「僕は、紫苑寺海斗。最近、こいら辺に引っ越してきたんだ。よろしく。」

「うーのは、第一印象が大切だと思つ。」

「おお、そつか！じゃあ、俺がこの街を案内してやるよ。」

「ありがとう。じゃあ、お願ひするよ。」

チャラそうに見えて親切なやつだな・・・

こうこう話してゐるうちに先生がやつてきた。

「全員席に座れ！」

いかにもだるそうな声で言つてきた。生徒が全員席に座ると、

「えへ、何言うんだっけか？」

「忘れるなよ！」

やばつ！思わずツツコんでしまった。

「いーしきコミだ。えへと、誰だっけ・・・まあいか。」

「よくないよ！」

またツツコんでしまった・・・みんな、すりこじ笑つてゐる。

すぐ恥ずかしい。

「いーしきコミも見れたといひで、改めて、入学おめでとう。高校

は、義務教育じゃない。弱肉強食の世界だ。勉強しない奴はどん  
どん置いてかれるぞ？」

「なぜかとてもリアルなことを言われた。教室が静まり返ると、  
「なんて脅してみたけど、驚いたか？」

「脅すなよ！」

僕がツツコむと、クラスメイトから、そうだそうだーなど声が上  
がつた。僕って、ツツコミ気質なのかな？でも、なんか楽しそうな  
クラスだったのほつとした。

ホームルームも終わり、全員が帰ろうとしている、幸樹が話し  
かけてきた。いや、呼び捨てにしているのは、最初、幸樹くんって  
言つたら、呼び捨てでいいって言われたからなんだからね！

「じゃあ、約束通り俺が街を案内してやるよー」

「そういえばそうだつたな・・・

「・・・うん。お願いするよ。」

「お前、忘れてただろ？まあいや、そういえば知ってるか？」の  
学校すごい美人な先輩がいるんだつてよ。」

「そりや、どこの学校にも美人な先輩くらい、いるんじゃないの？」  
「ううなんだけどな、その先輩は、告白されても全員フツてるらし  
いぜ？」

「へ～。なんでだろ？」

「さあな～？美人の考えることなんて、わかんねえし。」

「たしかにね。」

などと雑談しながら昇降口で自分の下駄箱の中を見ると、

『校舎の裏に来てください。』

と、書いてある手紙が入つてい  
た。

下駄箱の中に手紙って時代遅れじゃない?

## 第一話「僕ひで、シシ ハハ氣質なのかな?」（後書き）

ちょっと違つと違つとこりに反応している主人公でした。

読んでくださつてありがとうございました。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5333ba/>

---

It's Beautiful Days !

2012年1月14日21時46分発行